

広島原爆記念式典をテレビで見て、改めて、平和と幸せについて考えました。そして、先人の言葉にもあるように、「他人の不幸の上に自分の幸せを築いてはならない。他人の幸せの中こそ、自分の幸せがある。」と思い、それを多くの人が共有したら、素晴らしいと思いました。

1953年小学校卒業で、クラス48名の「思い出の記」が手元にあり、その中の寄せ書きに<正しく強く 章嗣>と書いてあり、これまでの人生で、その時々、<なになが正しいのか>考えながら来ましたが、戦後77年の今、<核の傘に頼っているのは正しくない> と思います。

⇒ ● 核の傘に頼らぬ覚悟決める夏

檜の花森の静寂に咲いており …… 毎日の散歩に出かける東高根森林公園で、白檜林の観林階段栈道で、自分の足音だけ聞こえる中で立ち止まり、花に気付いて詠みました。

風鈴に目覚めあごひげ撫でており …… 日頃は雨戸だけの隅開けを、ガラス戸も開けて寝たもので、冷氣と風鈴は気に入ったが、夜は振り紙を固定し、朝に留め具を外そうかなど。

背びれ雲の青空泳ぐ梅雨晴れ間 …… 梅雨晴れの散歩で、森を出てからの帰りに、魚の背びれ模様の雲一点が、青空を泳ぐように見えたのが面白かったのだ。

好きなことだけをするなり夏来たる …… 八十路の日々は、脳と身体をそれなりに使うことは心がけながら、気が進まないことは潔くやらないで、楽しめることを探して暮らしている。

山百合の差し出す笑顔森の土手 …… 神奈川県花の山百合にちなんで、谷あいにはゆり園があるが、階段栈道を上る人に、笑顔差し出すように、土手にもユリが咲いている。

森散歩蚊よけスプレー腰に下げ …… 日課の森林公園散歩で、森に入る前に、腰ポーチから虫よけスプレーを出して、腕や首筋を保護することが欠かせない季節になった。

前後左右カナカナ輪唱遠夕焼け …… 前後左右の木々からのヒグラシの輪唱を聞きながら森の坂を上って、丘の頂上から遠く富士山を雲に隠す夕焼けを堪能した。

エアコンをつけて寝ると返信す …… 当方後期高齢者夫婦。30度越えの日が続き、息子から念のためと断りながら、エアコン点けて寝ているかのメールあり、やってると返事した。

以上